大正十三年四月二十日發行

# 婦人衛生雜誌

第三百七十三號

# 婦人衛生雜誌

## 第三百七十三號目次

## 講演

# 財界の浮沈と疾病との關係

醫學士 田結宗誠述

本會に於ては震災後種々の事情により未だ例會を開くの運に到りませぬので、平素の講演に代へて本篇を玆に掲げる事と致しました。これは田結學士が中外醫事報の爲に述べられたものなる事をお斷り致して置きます。（編者）

私は十餘年前からこの問題について調べて見たいと思つて居りましたが、調査材料を集めるのに困難なために不本意ながら躊躇して居りました、しかし試に先般來二三の參考資料を集めて見ましたのでこれを機會に私は平素の考を簡單に述べて見たいと思ひます。疾病の原因はこれを內因と外因とに區別する、しかし必ずしもこの兩因を嚴密に區別することは出來ぬ、例へば胃癌の原因は內外因何れかと云へば刺戟發生說が明かなる今日に於ても尙ほ內因に重きをおかねばならぬ、又動脈硬化症の如きは酒精飲用、黴毒その他の外因によるも亦是等の不攝生なくとも內因によるものもある、從て疾病の原因を內外に區別するも結局は內外何れが主因であるかによつて差別する外はないのである。

今財界の浮沈と疾病との關係を調査するにあたつて、經濟と精神作用（疾病の內因）經濟と身體（疾病の外因）との二方面から觀察するのが便宜である。

先づ經濟と精神作用との關係を觀察するに經濟上の條件が好いときと惡いときとの精神狀態に甚しく相違がある、今一個人に就て觀るに好況時には精神的には愉快を感じ從て身體の狀況も良好であり、しかしこれは一面の觀察であつて全面ではない

即ち好況時には精神的に愉快を感ずると同時に精神的弛緩を來たし從て健康の破綻を來たし易い、私見によれば好況時には精神的弛緩のために健康を害するものが多數であると信ずる、私共が往々無産階級者が一朝にして巨富(勿論比較的)を得たがために精神的に破綻を來たした實例に遭遇するは這般の消息を物語るものである。又實際好況時には個人診療所の門前常に市をなすを見ても疾病の多數なるを知り得るのである、然らば無産階級は經濟的不過者であつて不衞生なる條件におかれて居るから好況時には生活條件が向上したために健康が好いかと考へられるが、これは皮相の觀察であつて決して眞相ではない、蓋しこの間の消息は門外者の意外とする所で各處の救療機關に於ても好況時代には個人診療所と同樣に多數の患者の集るのを見るのであり、これ全く收入增加による精神的弛緩の結果なりと斷定して過がない。

論者は或は好況時には些細の疾病にても醫治を乞ふを以て統計上患者の多數なるべしと言はんも、事實は好況時の疾病が多くは輕症なりと、認め得ずして却て重症が多いのである。

要するに好況時には各階級を通じて疾病が多いのであつて、これが原因は內的弛緩即ち精神の不健康に歸すべきものである。

これに反して不況時に於ける疾病の關係如何を觀るに有産階級に於ては萬人の見る如く疾病は少數である、これは事實疾病が少數であるのでなくして不況のため精神的に緊張し些細の疾病は忍耐するとか或は賣藥によるとか兎に角經濟的緊縮の結果精神的に緊張しこれによりて發病する數も少ないのである。

然らば不況時に於ける無産階級の疾病の多少如何を考察するに一般の想像は必ず著しく增加するものと考ふるも事實はこれに反して有産階級に於けると同樣に減少するのである、これには種々の原因があるが第一に擧ぐべきは矢張り精神的緊張である。

實際大多數の疾病は精神作用に因由するもので精神的療法の毎常有效なるは經驗家の等しく首肯する所である、不況時に疾病の少數なるは全く缺乏による緊張の賜である、卽ち無產階級に於ては缺乏のために勤勉の止むなきに立ち至り餘事を顧るの暇なく專心業務に精勵する結果として發病せないのである、又たとへ發病するも些細の違和はこれを顧る暇がないのである、玆に注意すべきは不況時には精勤の止むを得ざる結果として、可なり重病をも我慢して勞働し、愈々勞働不能の狀態に至つて始めて醫治を乞ふものの可なり多數あることである。

これが豫防法は不況時に於ける社會政策の發動に待つべきもので、かゝる社會狀態は誠に寒心に堪へないのである、要するに不況時には疾病のために醫治を乞ふものは減少すると同時に他方重症が比較的多數に上り、その結果として死亡率が多くなるのは事實である、不況時には精神虛弱者は精神經病を起すものがあるけれどもこれは少數である。玆に一言したいのは疾病の多數は絕對的のものでないと云ふことである、卽ち多くの疾病は或程度までは精神狀態によつて左右せられるもので必ずしも全部が醫治を要するものでない、殊に內科的疾病はこの方面の色彩が濃厚である、就中無產階級に於てはこの傾向が著しく目立つのである、卽ち相當に輕快した患者に勞働に甚へ得ることを十分說明して業務に就かしめれば十分業務を遂行し得るのであるが、これを何時までも藥治療法にのみ賴らしむるときは容易に就業し得ないのである、又何處の病院でも個人診療所でも同じことであるが雨天の日寒い日或は風の日には新來患者のみならず再來患者も少ないのである、而かもこれは內科患者ばかりでなく外科的患者でも同樣である、又この點は有產無產の差別は餘り著しくないのである、卽ち疾病は絕對的のものでないと云ふ所以である、卽ち忍耐すれば出來得るのである。

又忍耐すれば自然に治癒するのである、因て私は

各個人が精神的修錬を進めれば疾病は現在の半分以下位に減少せしめ得ることを確信するものである、勿論私自身は治療醫であつて決して醫學を輕視するものでないことは言はずもがなである、少しく脱線したが次に經濟と身體との關係を考察したいと思ふ。

上段に述べたやうに疾病の原因を究むれば内外因何れも加味するものであるが故に精神的及び身體的原因とを嚴密に區別することは至當でないけれども、經濟と精神作用との關係を述べた順序として經濟と身體との關係を考へてみたいと思ふ、例へば過食による急性胃腸加答兒はこれを表視すれば身體的原因に發する疾病なると同時にこれを深視すれば過食なる事柄は精神の弛緩に因るもので、この急性胃腸加答兒は精神的原因に發するものと云ふことが出來る。けれども通常私等はこれを過食なる外因に發したものと認めておるのである。所で財界好況時には各階級を通じて通貨の潤澤なるがために不攝生に陷り、過飲暴食をなし、又多忙にかられて身體を過勞し、その結果疾病を惹き起すのである。これを工場などの例に見るも好況時には病氣缺勤率が多いのは實際家の夙に熟知する所である、又筋肉勞働者の定休日なる一日、十五日には不攝生をなすもの多く、その結果として以後兩三日は缺勤者が多いのである、又この一日のために終生を虚無にする禍根を醸すことも少なくないのである、この點に就ても爲政家の考慮を煩はす餘地がある。

尙は一言追加せなければならぬ點は通常の場合には經濟上の條件が良ければ攝生も十分に出來て健康を增進するのは異論のない所である、しかしこれは精神的訓練のある士にのみ見る所で多數は好況時には精神的弛緩の結果身體的不攝生に陷り健康を害するものが多數であると云ふことを見聞するのである。

然らば不況時の身體的健康如何と云ふに、好況時と反對であつて全く不攝生をする時と金とを持たな

いために健康である、又些細の疾病があつてもこれを顧る遑がないのは經濟と精神作用との關係が同一であつて敢て再説するまでもない、又工場等に於て從業者の外傷の如き身體的障碍ですら不況時には少數で好況時には多數あると云ふことである、これは結局精神的緊張と弛緩とによりて左右せられるのである。

これを要するに財界好況時には社會の各階級を通じて疾病が多く、これに反して不況時には疾病が少ないと云ふ結論に到達するのである。

左に二三の統計を擧げて大略の參考に供したいと思ふ、尤もこの統計が上述の事實を如實に語るものでないことをお斷りしておく次第である。

恩賜財團　濟生會大阪府病院外來患者統計

外來患者實人員

| | |
|---|---|
| 大正五年度 | 一六二八三（九ヶ月計上） |
| 大正六年度 | 三二三六三 |
| 大正七年度 | 六八三三八 |
| 大正八年度 | 九二二一四 |
| 大正九年度 | 九三一三二 |
| 大正十年度 | 一〇三九九九 |
| 大正十一年度 | 一〇四七九七 |
| 大正十二年度 | 四一二八四（大正十二年七月より十一月に至る五ヶ月分計上） |

この統計を見ると患者數は漸次增加しておる、これは毎年設備を擴張せしことが主なる原因である しかし好況時代なる大正七、八年に比べて不況時代なる大正九、十年以降の患者數の增加率は減少しておる、又昨今不況の聲漸く繁きに際し患者は稍〻減少しつゝある、この事實は上述の結論と符合するものである。

次に赤十字社大阪支部病院の外來統計を見るに

外來患者實人員

| | |
|---|---|
| 大正五年 | 一五五〇七九 |
| 大正六年 | 一七三七六六 |
| 大正七年 | 一八二〇二三 |
| 大正八年 | 一九四七六七 |
| 大正九年 | 一八〇二九六 |

| | | |
|---|---|---|
| 大正十年 | 一九五二七五 | |
| 大正十一年 | 二〇三二五七 | |
| 大正十二年 | 一九〇二〇九（一月より十月に至る十ケ月分計上） | |

同院も年々設備を擴張したために患者に漸次增加しておる、しかし不況の大正九年は稍ゝ減少しておる、又昨今も減少しておると云ふことである、この二つの病院に於ける入院患者の統計は省略したが、定員數だけは常に滿員であるけれども好況時には申込殺到し、これを處理するに困惑するのであるが、不況時には左まで申込が繁劇でないのを以て兩者の區別は明瞭であつて全く病院内の狀況だけを見ても財界の景況が窺はれるのである。

尙ほ大正三年の不況時代には私は濟生會下谷診療所に居たが矢張り患者の減少を經驗した。

次に大阪市の死亡統計を見るに

| | 全市の死亡數 | 人口千人に對する死亡數 |
|---|---|---|
| 大正五年 | 二七三八八 | 一八・一五 |
| 大正六年 | 二八〇〇〇 | 一七・九七 |
| 大正七年 | 三七七二五 | 二三・一〇 |
| 大正八年 | 三〇四四八 | 一九・二二 |
| 大正九年 | 三三〇八〇 | 二六・四〇 |
| 大正十年 | 二九六八九 | 二二・〇五 |
| 大正十一年 | 三〇〇一二 | 二二・一一 |

大正七、八、九年は流行性感冒の猖獗のために死亡數は著しく多數であつた、この統計では死亡率と財界の狀況との關係が明かではないが不況時代には死亡率が增加しておる傾がある、しかし昨今大阪市の死亡數は例年より著しく減少しつゝあると云ふことがある。

## 叢談

### 天候と人體

莊司秋次郎 述

天候氣象は人間生活に最も密接した大問題で、且

つ頗る複雜な衞生的關係を持て居る事柄でありまして、なか〳〵一朝一夕のお話ではありませんが、茲に獨逸のドクトルウェー、グロース氏の「ウエッテル、ウント、メンシュ」と題する頗る要領を得た通俗的の一篇が最近の獨逸雜誌に見えて居りますので大體それに依て人體と天候との關係を述べる事と致します。

我國の氣候では、通流空氣の溫度は、日陰では未だ人體血液の常溫の高さに達して居りません。閉込めた室内では、先づ二十度内外の溫度が最も心持がよい。それで體溫が三十六度五分とすれば、それはそれよりも十七度程低いわけであります。北獨逸邊では、日陰の氣溫は殆ど三十五度を超すことはなく南獨逸でも三十七度を超すことは稀だと申しますから、我國の平均氣溫よりは少し低いのでせうが、我國とても夏季を除けば概して三十七度を超すことは稀でありませう。それですから吾々の身體は、生理的の法則に從ひ、放散や傳導に由て絶えず體外に溫を出さなければなりません、それに又吾々の粘膜や皮膚は濕潤して居り、周圍の空氣は常に水蒸氣を攝取すべき狀態に在りますから、此處からも餘程の溫を奪はれるわけであります。水を蒸發される爲には、同量の石炭が燃える際に供給すると同じ溫度の十分の一を要するのでありますが、吾々が外に出す放散熱の量は、體溫と周圍の溫度との差が大なるだけ益々大である、傳導熱も矢張この差に由り、又吾々の身體に觸れる氣流の强さにも由るのであります。故に何れにしても絶えず莫大な熱量が身體から奪はれるので、これは食物攝取に依て補はなければならぬのです。吾々の呼吸及び仕事も亦熱量の消費を來すのですが、それは前述の放散、傳導及び蒸發に對しては至て僅かなものと看做されて居る。即ち熱量消費の總計を一〇〇と立てれば、平均四四%は放散の爲に、三〇%は傳導の爲に、二〇%は蒸發の爲に使はれることになつて居る。若し空氣が濕つて蒸發高が減れば、それだけ傳導と放散との爲の熱消

費が高まる。約三〇〇〇熱單位、言換へれば約一「ポンド」の石炭の燃燒熱を毎日吾々は外に出さなければならぬのですが、放散の強い場合、特に屋外に於て寒い強い風にあたる場合には、それが二倍にもなるわけであります。

皮膚の溫度變化に由る刺戟では、寒冷を感ずる神經が血管の收縮を促がし、皮膚は硬ばつて、乾いて裂け易く、引縮むことになり、溫かい時には他の神經が血管擴張を促がし發汗を來すことになり、皮膚は潤うて、血液に富み、むくんで來る。刺戟の無い場合、卽ち少し詳く言へば氣溫が二十度乃至二十四度で皮膚が三十二度乃至三十三度位になつて居れば、此時には吾々は快く感ずるのであります。著物に被はれてない部分では、氣溫が三度だけ昇るか降れば、皮膚溫は一度だけ昇り或は降ります。皮膚溫が二十八度以下になると吾々は既に強い寒さを感じ、三十八度或はそれ以上になると熱さを覺えます

體溫の調節には食物攝取、筋肉運動及び總ての精神狀態が大關係を及ぼすことは勿論であります。一體この地球表面上では、溫度は「プルス」六〇度と「ミヌス」七〇度の間を昇降して居る。卽ちその上下一三〇度に亙つて居りますが、我國邊では四十度から零下十五六度位の間を昇降して居ります。この上下の氣溫の間には種々の時季がありますが、吾々は適當な衣服と、室溫の適度の應用に依て此等の變化に應調することが出來ます。特に靜かな濕潤した空氣は熱作用を呈し、新鮮な乾燥した風は寒冷作用を呈します。蒸熱い時には食物を控目にして、筋肉勞働を減じ、甚しく寒い時には酒を飮めば先以て暖になりますが、併しこれは後に至て甚しく溫を失ふことになります。

消費された熱量は、體內に於て、攝取された食物の燃燒に由て補はれるのでありまして、百「グラム」の蛋白或は含水炭素は四一〇の熱量を供給し、同量の脂肪は九三〇熱量を供給致します。故に約三〇〇「グラム」の脂肪或は七五〇「グラム」の蛋白及び含水

炭素で以て、消失さるべき三〇〇〇熱量の需用を補ふことが出來るわけであります。冬になると熱消失量は夏よりも著しく多くなり、從つて體重は夏になると増し、冬になると減る理であります。が然し夏は食欲が衰へますから、大抵はこの反對になるのであります。一〇〇「グラム」の蛋白質と五〇「グラム」の脂肪と五〇〇「グラム」の含水炭素との混食で必要だけの熱量を供給します。一箇の卵は八〇の熱量を供給し、一〇〇「グラム」の牛酪は七七〇、「パン」は二二〇、馬鈴薯は九〇、魚は七〇、肉は一〇〇、乳は六五の熱量を供給します。

以上は唯吾々の食物と密接な關係にある體温成生に及ぼす周圍の氣温の影響だけを觀察したのでありますが、併し氣温の外に空氣の濕度と氣壓、それから尚ほ空氣の塵埃や天氣工合も吾々の健康狀態及び氣分の上に極めて著しい影響を及ぼすものでありまして、衛生學は凡て此等氣象學上の要因を絶えず注意して、人間の普通の環境に於て生體の屢く遭遇する著しい障碍を促がし、これに依て能率を損減する所の動機を發見するに努めて居ります。濕れた衣服や靴などの爲に起る部分的温脱出が如何に不良の感作を及ぼすか、又通氣、特に車などに乘て風に當るとか、戸外で風の吹く場所で神經痛を起すと云ふやうな事も誰も知つて居ることでありますが氣温の急劇な昇降は甚だ種々に作用致しまして、二十五度から十五度に降つた場合は、十五度から五度に降る時よりも餘程堪へ易いと云ふ様なわけで、この種々なる天候の影響が、病人に對して各々錯雜した意味を持つて來る、これを正當に判斷して適當の處置を取ると云ふ事は、療養所あたりの醫師には頗る必要な事で而かも甚だ困難な仕事であります。又その土地が海洋的の位置にあるか大陸的の位置にあるかと云ふことも大影響のあることで、前者に於ては全體から見て濕度の大なることは勿論であるが、併しその増減の差並びに氣温の差は甚少ないのであります。又海濱の戸外に於ては風が強い、これは土地

の摩擦が少ないからで、その速度も著しい。然し海濱及び田舍に於ては、大都會や大陸の內地に比して著しく空氣が淸潔である。つまり都會や內地に於ては、塵埃、煤煙及び諸種の病原菌などが空氣に混じて居るのであります。午後には往々空氣が濁るこれは午前中に地氣が段々暖まつて、その不潔の度も增し、日光が直射すれば道路も壞れて來るからである。

空中に含まれて居る水蒸氣は、その百分率により或は氣壓に由て測定せられますが、この水蒸氣が人體に及ぼす所の影響も少なくない。人間は、尿や糞便に由て排出する液體の外に、蒸氣の形で以て一「リートル」以上の水を體外に出すが、その三分の一は肺より、三分の二は皮膚から出すのであります。若し濕潤した空氣の中に居る時には、勿論吾々の水蒸氣發散は少ない、即ち空氣の蒸氣饑餓が減退して居るからである、併しその代りに傳導及び放散による體溫消失は著しく多くなつて參ります。

周圍の空氣自身が既に吾々の體溫よりも遙かに降れば、勿論吾々は寒冷を覺えるが、非常に熱く且つ濕つて居る、所謂蒸暑い時には、吾々は特に壓へつけられる樣な不快な感じがする、これは發汗及び皮膚表面の發散が妨げられるからであります。

乾燥した空氣は呼吸を減じて深からしめ、濕潤した空氣は呼吸を增して淺からしめるものでありますが濕度計で測つて六〇%と云ふのが、室內では先づ最も恰好の濕度でありまして、吾々は直徑の大なる金盥の樣な物を暖爐の上に置いて、この濕度を保つやうに努めなければなりません。

戶外に於ては風の强さが大に影響する、又その土地により又季節によつて南風が濕氣を持つてゐて北風が乾いてゐるとか或は東風が濕潤してゐて西風が乾燥してゐるとか云ふ樣な關係もあつて、これが直接には觸覺刺戟となり、間接には體溫奪取の作用を呈する、殊に長時間その感作を蒙むる時には影響が大である。夏季に於ても水蒸氣の部分壓は、その溫

度に依て一五乃至二〇「ミリメートル」位のものであるが、高い血溫を有して居る所の身體周圍の空氣は倍以上の飽和壓を有して居る、故に身體の近い周圍に於ては、空氣の水蒸氣饑餓が著しく、絶えず濕潤して居る身體表面で發散する所の水分は吾々に莫大なる體溫を奪つて居るわけであります。

數年前英國の醫師で氣象學者たるレオンハード、ヒル氏が「カタテルモメーター」と云ふ器械を發明致しましたが、これは如何なる場所に於ても、乾いた物でも濕つた物でも各物體の冷却度を隨意に測ることの出來る器械でありまして、これなれば海洋氣候と大陸氣候との間の比較も又避寒、避暑地の特質もよく分かるので病院殊に療養所と云ふ様な所で盛に利用されるやうになりました。勿論室内空氣に就ても應用されるのであります。

## 姿勢と歩容

久吾與那三述

優雅な姿勢と立派な歩容とは、その人格に附隨して大なる價値を有して居る事である。特に婦人に於ては極めて大切な品位を爲す所のものである。然れば我國に於ても昔より立居振舞に就ては隨分やかましく言ふたものである。併しそれは鎖國時代に於ける、特に室内に於ける立居振舞であつて、今日の如く衣服住のみならず全般の風俗生活狀態に大變遷を來たした國民の立居振舞ではない。四疊半乃至十二疊位の天井の低い室内に於ける島田髷で振袖を着て坐る時の姿勢と、鐵筋混凝土、丸天井の大廣間の中央に、胸や腕を現はにした輕裝の洋服姿で磨牀の上に立つ時の姿勢とは異らざるを得ない。年に一度母や乳母に伴はれて、お宮とかお寺とかに參詣するお孃様の歩容と、毎朝出勤時刻までに勤先に急ぐ職業婦人や、筋骨逞しき偉男兒と腕を組で遊獵に出掛

けると云ふ娘の足取りとは異ならざるを得ない。

婦人の姿勢並に歩容の美的評價は、各國、各人種、各時代に依て異つて居るであらうが、各人種、各國民が歴々一堂に會するやうになつた現代に於ては、茲に各人種、各國民を比較して品隲すべき共通の美的評價の標準が立て來なければならぬ。例へばアイヌや南洋あたりの婦人の顔の入墨は、彼等仲間には如何にも美人の資格を増すのであらうが、吾々にはお怪でも見るやうな不快な感じを與へる。支那婦人の纏足は、同國人には如何にも貞淑らしい優美な君子國民の歩容と觀えるのであらうが、吾々には全く憐むべき不具者としか感じられない。西洋婦人の「コルセット」は、歐米人には如何にも上品な蜂や蝶の様な文明國民の姿に觀えるかも知れないが、吾我には何うしても體刑に處せられて生命を縮められる人としか看えない、從て見るから息苦しく感ずる。最後に吾が日本の婦人方こそ天晴世界の模範的風姿を具へて居るものと信じてゐた所が、遠慮の無い外國人の批評を聞いて見ると、案外これも左程立派には見えないらしい。何と云ふかと思へば、アヒルが奇麗な背嚢を背負て歩いてゐる様だと云ふことである。

かうなると婦人の容姿、特にその姿勢並に歩容の美的評價と云ふやうな事になると、單に外觀だけに依て品評することは出來ない。必ず解剖學的に看た人體の圓滿なる發育、生理學的に看た人類本然の運動の發達、心理學的に看た高尚優雅なる表現の修養如何を標準に執つて、醫學的美學的に批判しなければならぬ。

それで誰が何う見ても優雅な姿勢、立派な歩容を修養するのには、單に折屈とか裾捌とか云ふ様な人形芝居の様な練習では駄目である。必ず先づ身體そのものゝ解剖學的完成、生理學的發達を期せなければならぬ。これが爲には今日種々の體操法、諸種の遊技運動法が行はれて居るから、須らくこれを應用して健康な完全な圓滿なる身體を造り上げるやうに

心掛くべきである。これには孰れの體操法も遊技も效能はあるけれども、一遊技に凝り固まると、その遊技の競爭には優勝を得るにしても、優雅なる姿勢立派なる歩容を完成する上には兎角偏頗な缺點があつて、特殊の癖が出來易い、但し水泳及び駈足は、その缺點が少ないのみならず非常に效がある樣である。

申分のない優雅な姿勢、立派な歩容を完成するのには兎に角解剖學的生理學的に完全な健康を期せなければならず、それには體操及び遊技が必要であるこれに依て幸に圓滿な肢脚が出來、美事な身體の發育が完成されても、人體美と云ふ意義には、その均等に發育した外形だけでは不十分である。それよりも姿勢及び身體の運動振に、わざとらしからぬ自然の優雅と活々した生命及び强健なる意志の印象が表はれなければならぬ。それで起立したり歩行したりする際の立派な姿勢には、一程度の内部の緊張と意識的尊嚴とが自然に輕快に伴ふ筈のものである。

その姿勢を簡單に評して見れば、背と頸はすらりと伸びて居る、肩胛骨の處が僅かに隆まり、肩と臂とは後方に引かれ、胸は裕に前方に膨れ、頭首は聳えて而かも自由に見廻される。此の如き姿勢の解剖學的要件は、薦骨から後頭骨に至るまで脊柱が垂直に十分に伸展される事であつて、これは又長背筋の體操的修練の結果でなければならぬ。それから又横の方向に於ては肩及びこれに懸つて居る臂を後方に牽くことで、斯うなければ胸が自由に膨れて強く隆起するわけには行かぬ。

一體吾々の姿勢の根本は略ぼ脊柱の格好できまるのであるが、この脊柱には幾多の特有なる屈曲がある、これは勿論人間が直立して歩行するので斯うなつて來たものに相違ない。即ち先づ脊柱の上端の處が輕く前の方へ凸彎して居る、頭を垂直に擡げれば分かる。それから脊柱の下端に於て薦骨の上の處が深く短かく前方に向て凹彎して居る、此處に腰が附いて居るわけである。而してこの上下の兩彎曲の

間には、うねりの長い後方に向つた脊柱の彎曲が出來て居る、これで背部或は肩胛部の隆起を呈することになる。この脊柱の自然の彎曲、即ち生理的の彎曲は、一種の極めて穏かな律調的のうねりを現はして居る波線で、姿の好い人では、その波の頂と谷とが同じ高さ、同じ深さを保つて居るものである。併し脊柱の格好の美的關係を數學的に定めて、活きて居る人間でこれを示すことは困難である。けれども少し檢査しなれた眼には、全體の姿勢に對して脊柱の形の異常や缺點は容易に發見されるものである。それには直立させて側方から眺める、すると垂直の脊髓に對して右に述べた凹凸の彎曲が深過ぎるとか淺過ぎるとか云ふ事が直ぐ氣につくものである。脊柱各部の左右へ曲て居るのは少し前に屈ませて指で以て上から下へ撫下して見れば分かるが、稍〻著しいものは、左右の肩を平にして後方から眺めて直ぐ分かる。兒童の身體を完全に立派に發育させやうと願ふ親達は、屢〻兒童を裸にして此の姿勢を檢査する必要がある。その際には單に脊柱のみならず肢脚の格好に就ても精査すべきこと勿論である。

大分よくなつたわけであるが、今日でも實際小學校兒童には脊柱の形の不正なもの、從て姿勢の惡いのが隨分ある。これを豫防矯正して立派な姿勢をとらせるのは學校體操の主要な目的でなければならぬ。身體の美と健康とに對する目的は、一定の事を巧にやる様に練習させるよりも確かに大切な事である。脊柱の彎曲の不正なもの、姿勢の宜しくないのにも種々あるが、茲には唯だ自然の彎曲が弱いとか發育が足りないとか云ふ背柱の形に就て一言して見る。それは所謂平扁な背中で、俎板を脊負はせた様な、全體に趣の無い背中である。斯う云ふ人は通常胸廓の發育も薄弱で、極めて平扁な胸をして居る。この種の姿は、所謂虚弱者の姿勢を示すもので特に幼時、生れたばかりの年に病氣をして、絶えず仰臥させられ、歩き方も遅れて覺えたと云ふ様な小兒に多く見る所で、つまり形態を構成する機能、即

ち運動が足らなかつたと云ふ事になる。
屢々見受けられる一種の不良なる姿勢は所謂「猫背」である。これは胸椎と頸椎が後に向て一個の弓形を成し、頭首は前に懸り、肩の高さの部分の背中が強く凸隆し、肩胛骨は胸廓上に於て外方に押出され、兩臂が前方へぶらつくと云ふ風である。斯様な惡い姿勢は、勿論脊柱や背筋の元來薄弱と云ふ點もあるが、讀み書き等の坐業に際して、強く前屈することに由て助成される。特に幼少の時から近眼になり始める時はさうである。併し脊柱の姿勢の爲には、凡て續けざまに坐つてゐることは有害で、縱令衞生的に構造された學校椅子でも餘り長い間坐る時は有害である。一體正しく坐ると云ふことは、不斷の筋肉作業であつて、特に脊柱の伸展筋を絶えず緊張することになる。斯様な緊張が休みなしに長時間續けば、背筋は疲勞して脊骨が前屈するのは當然の事である。これは又元氣のない、因循な、意志薄弱な人の定型的姿勢であるから、兒童に斯う云ふ傾向が見えたならば、その原因を調べて、努めてこれを矯正するやうにしなければならぬ。
良い姿勢を修得し又脊骨の不正彎曲を豫防する爲には諸種の體操遊技を應用しなければならぬが、今玆にその詳細を述べることは出來ない。
兎に角立派な姿勢を得る爲には、全身の體操及び身體各部の特殊なる練習が必要であるが、併しそれだけではまだ不完全な初歩たるに過ぎない、更に之に加ふるに適當なる道德的敎育を以てし、生を愛し勞を厭はざる活潑快濶の精神を修養せしめなければならぬ。體操遊技に依て強健快濶な人となり得るであらうが、その姿勢及び運動は、安祥健固の意思と體力との調和した優雅の表現でなければならぬ獨逸の大詩宗ゲョーテが、『愛嬌は、ひとり克く完成されたる力よりほのめく』と唱へたのは尤な事である。
斯の如き體操的修養には先づ第一に起立と歩行との練習を心掛けなければならぬ。吾々が如何に立ち

如何に歩くか、その様子は、直にこれ吾人の人格の一分に係るもので、吾人の精神及び意志の傾向を表明し且つ教育の置位さへも少なからず窺はれる、その起居動作に由て所謂「お里が判かる」位なものである。さて各姿勢及び運動の美を完成しようと思へば、先づ歩行の方法には、自然の歩行の本質から考へなければならぬ、人間自然の歩行の法則は、實に驚くべき適切な機制になつて居るのである。即ちこの自然の歩行を、その定型的の形に於てこれを崇化し美化し、輕快に彈力性に、歩幅は長く、律調的拍子は活潑に、姿勢は優美に心掛くべきである。眞の體育の根本問題はこゝに在るのである。これを念頭に置かず、特に拵へた强制的の所謂體操行進の如きは、人間自然の歩行に於ける美的法則を無視したものと謂はなければならぬ。

　單に歩行と云はず、吾々の身體の一切の運動に就て、次の如き根本の法則が成立つ、即ち『無用な無理な隨伴運動を避けて、力と努力を要すること最少最捷徑の途に由て、その欲する所の目的を容易且つ確實に達成し得る如き操作の形が最も美なるものである』と云ふことである。

　右の如く確然として、身體の複雜な運動を巧に行ひ得るやうに習練するのには、今日では幾多の體操法、運動法、遊技法の外に美妙な舞踊法も行はれて居る、特に瑞西のダルクローヅ氏の韻律體操の如きは、音樂に合せて身體の自然の表情運動を練習させるので有名になつて來た。更に米國のステッビン女史の藝術的「ギム子スチック」、これに改良を加へた獨逸のハーデ、カルマイエル女史の「ギムナスチック」は美學的に全身の姿勢及び各部の運動の法則を立て、呼吸と運動との調和を高唱して、特に女子の健康と美とを發揮することに意を用ひたもので、如何にも合理的な美的體操法と思はれる。併し必ずしも西洋の運動を採用しなければならぬものでもない右の如き精神を以て應用するならば、我國從來の踊特に能狂言の仕舞、薙刀の型等皆用ふべきである。

只一種の運動に凝り固まると、その事だけには上達するであらうが、却て片輪に成り易いから、それは注意しなければならぬ、特に各關節の骨の發育も未だ完成しない兒童に過劇な武藝などを勵ませることは最も愼まなければならぬ事である。常に道德的に精神を高尙にし、身體の健全圓滿なる發達を期することを忘れなければ、拭掃除、使歩までも立派な身體を造上げる助となり、その美しき身體は、高貴なる精神の言ふ所に反かぬ重寶となるに違ひない。この精神が身體を支配すると云ふ意識は、自ら又內部の自由と仕事を愛するの元氣とを與へるものである

ジヤン、ジヤック、ルソーは、「身體と云ふものは薄弱なれば、それだけ餘計に命令するもので、強健なれば、それだけ益々言ふ事を聽くものだ」と言ふたが、實際その通りである。我國の女子の身體は、一層健全に、一層優美になる餘地があり、又然かせざるべからざる狀態にあると思はれる。

## カモジの話

奥野順生述

これはカモジ販賣店の參考にとて奥野氏が話されたものなさうですが、本會會員諸姉にとりても興味深き有益なお話と思はれましたので、茲に轉載（東京小間物化粧品商報より）して御紹介致します。（編者）

かもじは、皆様も御承知の通り、御婦人頭飾品の內に於て、殊に、重きをなすものでありまして、日本婦人固有の、婦人美を發揮する上に於て、かもじの使用は、其の根源と稱しても、過言では無からうかと思ひます。

依つて此處に、かもじ一般の原料から製品、及び使用高の概數、かもじの善惡の鑑別法迄を、御話しして、各位の御參考に供へたいと思ひます。

### 原料の集成

最初のかもじの原料を、落毛と申します。

其の落毛は、皆様方の御家庭に於て、御婦人が頭をお梳きになる時に、五六本位宛抜けて梳櫛に付てくるのを、手先で一寸丸めて、紙屑籠の中にお入れになるのが、紙屑買の手で集められたものであります。

紙屑買は、其れを仕切場と申す立場に賣渡します。其の賣渡されたものが、此の立場で大半選分されまして屑問屋に參ります、其れを今度は、屑問屋で完全に分類しまして、落毛、モスボロ、麻、提燈に溜つた蠟燭の蠟、木綿ボロ等、數百種に選分して、夫夫の營業者に賣渡します、其の内落毛（抜け毛の丸めた物）は、我々營業者の中の、下職と申す業者に賣渡されまして、此れが、かもじの原料となるのであります。

原料の不足

此の様にして集合された落毛は、正確な事は解りませんが、年額凡そ、八十五萬貫から、百萬貫位は使用されて行くと思ひます、此の内には勿論、一度使用された、すき毛、ハイカラ髷の眞、古かもじ等も、含まれて居るのであります。

此れを金額に致しますと、時に相場の變動がありますが、平均して、貳百萬圓乃至貳百五拾萬圓となります。此の様に多量の落毛も、かもじ原料として使用する迄に精製したら、どの位の目方を減ずるかと申しますと、凡そ四十萬貫乃至五十萬貫になるのであります、けれども、これだけでは、内地のかもじの需要量の半分をも滿す事が出來ませんから、此處に於て、其の不足を支那より仰ぎます。

支那毛は、落毛又は斷髮のまゝで輸入されますが大部分は半加工原料として輸入されて居ます、此の輸入量は凡そ、年額六十萬貫以上百萬貫は、確かに輸入されます、之れを金高になほすと、六百萬圓以上、一千萬圓になりまして、優に、内地生産量の約三倍乃至四倍の毛を、支那から買入れて不足を補つて居るのであります。そうしてかもじ原料としては、人毛許りではなく、一般に御承知のシャグマと稱す

る毛や、人造シャグマ製造用として、馬の立髮、牛の尾なぞやも、盛んに使用されます。此等人毛以外に金高として、全國凡そ十萬圓位は使用されて居りますが、此の內、シャグマだけは全部支那西藏の、西牛と申す牛の一種の尾毛でありますから、此れも支那から輸入されるのであります。

此の樣にして年々支那から輸入されて行く原料は多量なものでありますから、皆樣の御家庭でも、拔け毛を少量にかゝわらず廢物とせず、例へ一本の毛でも丹誠して、我々業者の手に入る樣にして戴き、且又かもじの取扱にも、叮嚀にして苟しくも粗糙のかもじを、お買ひにならない樣にすれば、其の支那に支拂ふべき金額も減少されて、國家の爲めに喜ぶべき事だと思ひます。

### かもじの起原

かもじの紀元と申しましても、歷史を調べた譯ではありませんから、實際の事は不明でありますが、かもじの元祖の神として祭つてある、王子權現社內にある關神社の宮司故大岡氏に承つた事です、其の御話によれば、關神社の神祖は、百人首中に有名な蟬丸樣であります。

蟬丸樣は、雲深き尊き御方の御子としてお生れ遊ばしたが、幼年にして頭髮は枯れ、目は失明した爲めに頭を丸めて、俗を離れ、唯只管に風月を友として管絃を弄び、其れを樂しみとして世を過ごして居られました、其の內に管絃の樂には、特に長じて居られたので、九重雲深き所より御召しに預り、御前に於て樂を奏する事となりましたが、頭が見憎いので、侍女の御關と云ふ者が、非常に歎き悲んで、色々工夫の末に其時始めて、かつらを作つて差上げたので、其れを用ひて參殿し、其の樂を御聽問に達したのであります、其れ以來毛の少ないものが、一般にかつらや、かもじやを用ふる樣になつたと言ふ事であります。

其れは極昔の事でありますが、私の子供の時分の事を申しますと、東京市中全體で髢屋が五六十

軒しかありませしでしたが、其の全部が、吉野屋、市野屋、伊勢屋と三つの屋號を用いて居りました、此の三つの屋號の內、何れが古いかは不明でありますが、兎に角、三ッの內の一ッが髢屋と云ふ業て元祖に相違ありません、其內に又、期を見て委しく調べて見たひと思つて居ります。

現今では、同業者の數が增加しました、私の家は父の代から髢製造業でありますが、私が覺えてから丁度三十五年斗りの內に、東京市內で百五六十軒のかもじ屋が出來ました。

かもじの產地

かもじの產地としては、東京、大阪、名古屋の外に、廣島縣の矢野町が有名でありまして、現に同縣の重要物產の一となつて居ります、其の外に、京都橫濱、神戶、岡山、姬路、高岡、富山、金澤等かなり出來ますし、其他各小都會至る所で少々宛出來ます。

原料の產地としては、廣島縣の矢野町、名古屋の在で尾張橫須賀町等が有名で、東京の三輪附近から三河島邊り、大阪の中川なども隨分出來ます。

根かもじに用ひます桐枕は、千葉縣野田町、埼玉縣岩槻町、及び粕壁町が全國に冠たるものであります、關西で用ふる根駒は、桐ではなく水木と云ふ脆い木で出來て居ります、是れは、美濃の大垣、又は廣島縣の矢野町が冠たるものであります。

根駒に用ひます紫縮緬は、東京が本場で、全國に冠たるものであります、次は京都で少量、その外各地でも少量づゝ出來ます。

かもじの種類

かもじの種類としては、凡そ四十五六種類位ありますが現今の樣にあとから〱新流行の髮形が出來ましては、何れを何れに用いていゝかと言ふ事が、判然と區別の出來ない物がありますから、かもじの種類として申上げる事が出來ないのでありますが、中に紛らわしい名で、全く使用途の違ふのがありますから、一寸別に申し上ます。

例へて言へば、びんかもじと、びんみの、田保みのと、つり田保、の様なものであります。

びんかもじは概して、若向きに用ゐられ、びんみのは多く老人に用ゐられます。但し例外もあります。

其れから、田保みのは田保さしのかわりに用ゐて毛は髷の足しにします、つり田保は、毛其物を直接田保の毛の足しにします。

此の區別を御承知下さらないと、御得意様より髢屋へ御註文になります時に、御客様と髢屋と兩方で考へ違ひをして、とんだお氣の毒を御掛けする時がありますから、御注意を御願ひします。

かもじの鑑別

かもじの鑑別法は、其の業の職人以外には一寸困難な事でありますが、大略を申ますと、先づ順序としてかもじの構造から申上げなければなりません。

かもじには、根付物、みの組物、毛締物とあります、其の三種類の內根付物は、昔は膠を用ゐて居ましたが、現今ではチャン(松脂)又は、漆を用ふる様になりました、根付物を作るにチャンを使ひますには、根桐をゆるく入れますから、頭の熱や、一二度かもじを洗ふと、チャンが溶けて無くなつてしまつて、根桐が拔けてしまひます、此の事は私が申すまでも無く皆様の御經驗の有る事だと思ひます。

うるし付は、根桐を極めて堅く塡め込みますのと漆の性質上一度固まれば、溶けたり、崩れたりする事が無いので、根桐が缺けない限り、壞れる事が無いのであります。

東京市內の小賣かもじ店で御求めに成つたかもじが、なか〳〵壞れないと言ふのは此の點にあるのであります、東京出來のかもじは卸向の品でも近來大部漆止めになりましたが、それでもまだ大部分チャン止めであります、關西物の様に、ばら詰め、つまり根桐を入れる前に中入と言ふを作ります、此の中入を東京では、毛で十分に締めてから根桐を入れてチャンで止めるのでありますが、毛で締めませんと

其れだけ弱い理由であります。

みの組物に至りましては、外見は關西物が非常に手ぎれいに出來て居りますが、實際の作業上からゆくと、手ぎわは悪いが東京物が丈夫に出來て居ります、それは二本の絲に毛をあみ付る時、及び編み付けた毛をよせる時に、十分に力を入れて組付けます上に綴方に力が入つて居るからであります。

毛締物は一言にして言へば東京物に比べて、關西物は論外であります、現に三十年程前迄は廣島縣の矢野町あたりで東京派の中卷がよく出來ないので、チヤンで毛を連綴合せて其上を青紙で卷付けたり其れから少々進歩して東京風の毛締めをする樣になつても毛が締まらないので毛締の上から絲でからげたり、其れは〳〵可笑しな仕事をしたものでありますが最近は大部進歩しました。

以上かもじの分類と、構造上の大略とを申上げた通り眞にかもじの鑑別をするには、其の職の業者でなければ、わからない事でありますが、外觀上の鑑別法として、大要七通りに見別けて行きます。

先づ第一に、かもじを見て毛の長さが品物相當の長さのある事であります、長過ぎても亦、短過ぎても使い難いからであります。

第二にかもじを手でずーッとこいて見て、根元から五寸位下の所から極めて順に毛がこけて行く事であります、こけ過ぎても、揃ひ過ぎても使ひ難いからであります。

第三に、かもじの頭が毛の嵩に應じた大きさの事であります、此れは根付物でも、みの組物でも中卷でも同樣です。

第四に、かもじをこいて見て手觸りがする〳〵とする事があります、じつとりとしたり、ぎら〳〵としたりするのは毛の仕上げが悪いからです。

第五に、みの物は手に取つて見て、みの目が成可く固い物が丈夫であります、柔かな物はぢきに崩れてしまひます根付物の頭の紫の縮緬をよく〳〵見て御覽なさい、大抵は安物の縮緬を使用しますから

布地がすき切れて居ます、こう言ふのは一二度使ふと布地が切れてしまひます。

第六に、些細の事の様ですが根付物の括絲が、かたん絲を使つてあるのがあります、こう言ふかもじに限つて、原料の粗末なのが使つてあります、第一括目は、根かもじの内でも大切な處であります、絹絲の様に柔かで細い絲でも頭の地を突いて痛みますのにかたん絲の様な、固く太い絲では頭の地を突いて痛む譯であります。

第七に、かもじを數々こいて居ると手が黑くなるのがあります、其れは毛の仕上が惡いのであります又其れ計りで無く、素人の人が一寸洗つてもすぐにこんからまりまして、一二回使ふとすぐに、ねばつて櫛が通らなくなります此の點も皆様の御家庭で始終御經驗があつて御承知の事だと思はれます。

以上の事を申上げると、同業の人から色々と苦情が出ますが、私は前にも申上げた通り當業の進歩發達を計りたい考へでありますから、同業の人から苦情が出ても、苦情を言ふ人には其の御説明を申上げる積りで御座います。

## 取扱ひ方

かもじの取扱ひ法としては別に面倒はありません、唯、文庫紙の付いたかもじでしたら、向つて左へかもじの頭を置いて、右の手でかもじをこいて戴けば良いのです、裾を持つて逆にする人がありますが、かもじは、必ず頭を持つて戴きたいのであります、若し文庫紙のつかないかもじでありましたなら左の手でかもじの頭を持つて戴きます、よく御素人の方が、かもじの頭を持つてブル／＼と振られますが、此の事は斷じてならぬ事であります、かもじは毛の性質上、ブル／＼と振られゝば、毛の何れかが必ずこんがらかりが出來ます、かもじは、こんがらかる事が大の禁物であります。

## 保存法

かもじの保存法としましては、かもじを御販賣になる方々及び、皆様の最も御苦心なさる事だと思ひ

ます。

皆樣も御承知の通り、根かもじの廻りには、みの毛と申す毛が一廻り付いて居ります此のみの毛を編む時に、かもじの上下を論せず、職方が、毛を口でなめて、唾で濕して絲に編み付けるのでありますから、其の唾の爲めに、根かもじの根ノ元、縮緬のすぐ下の所又は、みの組物、即ち田保みの、掛みの、前がみ、つり田保、びんみの、びんかもじ等のみの面や、或ひは、ばらみのの中卷の毛〆の部分の所やが、梅雨時より土用中にかけて白く黴が生えたり、又むれて、蝨が喰つた樣になつて、毛がボロ〱になります此の事は、皆樣の御承知の事だと思ひますが、是れを防ぎますには、冬分より春中の間は差支へありませんが、夏の初めより秋の終りにかけて、成る可く濕氣を受けない風通しの宜敷い所、然うして、砂埃、塵埃のかゝらない所に置いて戴きます樣願ひます、猶其れだけではいけません、前條へ申しました通り、みの目には一般に唾が付いて居て、多少鹽氣がありますから、時時出しては櫛を入れて戴きたいのであります、そして又、みの目に黴が生えたのは、毛の柔かな歯ぶらしで、みの目を横に輕くこすつて戴きます特に梅雨中は、手まめに手入れを願ひます、土用中はさしたる事もありませんが、九月の初めより十月の終りにかけて、毛がボロ〱となる時期でありますから、此の頃も五日目十日目には、ちよい〱櫛を入れて戴きたいのです、そうすれば、毛がむれたり、ボロ〱になつたりする樣な事が無く、且、毛が赤くなるのを多少は防ぎます。

元來かもじの毛は、ヘマチンと申す極堅牢な植物染料で染めてあるのですから、一年位で毛が赤くなる筈はないのでありますが、下職の方で原料毛を仕上げる時に、染めた毛を曹達の熱湯で洗つて水でゆすぐのでありますが、其の時に、ろく〱ゆすがなかつたり、又隨分不潔な水でゆすいだりする向もありますから、こう言ふ毛を使つてあるかもじや、又毛の仕上げが良くても、皆樣の方で、前條に申し上

げた手入れを怠つたりなさいますと、かもじの毛が赤くなるのであります。

一體かもじの毛(人毛)は、他の獸毛類とは違ひまして蟲が付くと言ふ事は絶對に無い事ではありますが、仕上げの惡い毛や品質の粗惡な物等には、時に蟲が付く事もあります、そう言ふ品に限り仕入れて二月か三月も擱くと毛が赤くなります、現にすき毛について御經驗がおありだろうと思ひます、粗惡な物等では一二ケ月でも毛が赤くなつたり、小蟲が生じたりするのがあります、要するにかもじの保存法と申しましても、品質の選擇が第一で、次ぎに御自分の御手入れが肝心であります。

以上で大略かもじの事は盡くした積りで御座いますが、最後に御注意として申添へて置きます事は、

一般にかもじでも、すき毛でも、毛其物自體に光澤のある品を御仕入れの時に氣を付けて御求めになる事が緊要であります、毛に光澤があつて手觸りが宜しければ、其れは原料毛の仕上げが宜敷いのであります、毛は仕上げさへ宜しければ、毛が赤くならず、使つてもねばりません。

其れから、かもじの具合としては一般に細口に出來たかもじが、見場は惡いけれども品物としては宜しいやうです猶前に申上げてありますが、田保みのと、つり田保、びんかもじと、びんみのの區別は是非氣を付けて戴きたいと思ひます。




## 育兒雜観

宇都野　整　述

宇都野ドクトルは最近歸朝せられた小兒科専門のお醫者ですが獨逸留學中に諸所の育兒所などを見學されましたので、特に我國の母親方の爲になりさうな事柄をぼつ〳〵お話を願ふことに致しました。(編者)

私はベルリン滯在中效外ノイケルンの市設小兒科病院へ通つて居ました、其の間に實見した彼我育兒上のかわつて居る點を二三御紹介しやうとおもひます。

むかうでは乳兒及びやゝ長じた兒童共に小兒科病院へでも入院する時は、家族のものは附添ふ事なく一人でやつておきます、そして乳兒には時間毎に母が通ふか又は媼母も澤山においてあります。傳染性を有して居ない子供さんは十五乃至二十疊じき位の部屋に小さな「ベット」が六ッか七ッおいてあッて、皆ひとりづゝはいッて居ます（最も大きいのになれば三四十人入り位の部屋もあります）。そして之を一人の看護婦がうけもつて居ます。子供さんたちは皆おばさん〳〵と云ふて、如何にも其の間は親しみの情愛が滿ちております、却て家族のものがついて居ない方が子供もおとなしい樣に見うけます。それから御見舞は大抵水曜と土曜の午後一時から五時迄ときまつて居て、尙ほ食品の携行とか、兒童の同行は感染のおそれがあるから禁ずると云つた樣な揭示が併記してあります。

或る日私が病室に殘つて居ますと、丁度訪問日であッたので、其の部屋の外に母らしい人と祖母らしい人とが身を壁ぎはにかくして、ソット内をのぞき込んで滿足氣に話をして居ました、其の内に私を手招きして、そして溫度表を一度見せて呉れと云ふので、それを示した。その子供さんは消化不良症であッたが、現在の獨逸では牛乳の質と供給に缺ける所があるから、授乳の時間と量を誤ッたゝめにこんな失敗をしたと誠に同情すべき話を聞かせられた。それから其の體重增加の割合や乳の濃度や量等を精細に書きとッて、先づ大丈夫だ安心だと云ひつつ溫度表をかへして歸らうとするから、私はやゝ妙におもつて、あなたがたは部屋へはいつて子供さんにあつて行かないのですかと聞いたら、母氏の答ふるには、イヤそれはよくない、逢へば子供は非常に嬉ぶが、歸ッてから却て子供はあとを慕ふて不安

になり、徒らに興奮させる丈けで害あッて益はない經過の良いと云ふ事さへ見とゞくれば目的は達したのである、又かき取つた表によつて他の家族のものにも詳細を語る事が出來ると云ふて去つた、此の外形だけを見ると何んだか情愛に乏しい様に見えるが委細を聞て見ると、そこに十分の理解があつて、徒らに感情にかられる樣な擧に出でない事に感心した爾來私は育兒の方面にも注意をむけ、其の機關やら又た父兄にも色々意見を求める事にした。

（未完）

# 臆病の子位の取扱

醫學博士　三田谷　啓　述

## はしがき

ものを恐れることは人間にあり勝ちのことであります。わけて子供は何かにつけてよく恐れるのが普通であります。しかしそれも段々年をとるに従ひ恐れることが少くなるものです。ところが子供のうちには普通の子供より物に怖ぢることのはげしいものがあります。斯樣な子供に對しては特別の取扱方が必要であります。また子供が恐ろしいと言ふことを知らずに居るときに周圍の人がやれ獅子ぢや、雷ぢや、お化けぢやと言つてわざと子供を臆病にさせることがあります。幼少のときにあまり物を怖らせて置きますとそれが第一印象と言ふものになつて年をとつてもその物に恐れを持つやうになります。

そこで私は臆病がどうして起るものか、またその種類はどんなものか、それが現れるとどうなるかと言ふやうなことを述べて最後に子供の臆病に對する取扱上の注意點を擧げて見たいと思ひます。

### 物を恐れるとはどんなことか

物を恐れると言ふことは自分を護ると言ふ本能を防禦して安寧にすると言ふ態度をとるときに起る情緒であつて、このときには苦痛が伴ふのでありま

す。例へば夜暗い處で人に逢つて、つれが盗人だと思ふと、その者から自分の物を取られはせぬか、又亂暴なことをせられはせぬかと言ふ苦痛が起つて早くその者から離れたくなるのであります。

### 恐怖は何時から起るか

人の情緒のうちで最も早く起るのは恐怖と憤怒でありますプライエルは子供が生れて二十三日目、ベンは二個月目、ダーキンは四個月目に起ると申して居ります、恐怖の起る時期は右の如く學者によつて多少の差はありますけれども、至極幼少の時に起るものであることは確であります、恐怖は啻に人間だけでなく下等の動物にもあることです。しかし動物に起る恐怖のことはお預りに致して置きます。

### 恐怖の種類

恐怖にいろ〳〵の種類があります。大きくわけると第一は普通型のもので、第二は異常型のものであります。普通型のものにはまた二つの種類があります。一は本能的の臆病で二は經驗的のものであります。

**本能的の恐怖**　本能的のものは生れながらに持つて居る臆病で、子供が動物や見慣れぬ人、自然現象などに對して恐れるものを指して言ふのです。

**經驗的恐怖**　經驗的の恐怖は事實的のものと想像的のものとに分けることが出來ます。事實的の恐怖と言ふのは嘗て自分に經驗した苦痛又は禍から思ひ起される恐怖で、例へば子供が犬に咬まれてひどい目に逢つた經驗があると再び犬を見た際もとの經驗を思ひ出して臆病になるやうな場合です。

**想像的恐怖**　想像的の恐怖は、自己が直接に經驗したことではないが他人から種々の苦痛や禍を聞いたり、又讀物などを見たりして想像するところの恐怖であります。例へば火事が起つて、見るも悲慘な狀態になつた有樣を聞き想像して恐怖心を起すものであります。經驗的の恐怖でも矢張り多少の想像が合して起るものであります。

**異常型の恐怖**　これは恐怖心が病的になつたもの

を言ふのです。前にも述べましたやうに恐怖は自己を防衛するための情緒であるが、次に病的になると却て個體を害するやうになるのであります。

恐怖の種類を表にして見ますと次のやうであります。

- 恐怖
  - 普通型
    - 本能的
    - 經驗的
      - 事實的
      - 想像的
  - 異常型

その外恐怖の强さによつて又これを

一、强度の恐怖
二、輕度の恐怖　とにわけることが出來ます。それから又恐怖を持續の點からわけると次のやうになります。

一、短時的恐怖　これは恐怖の狀態が暫時で消滅してしまうものです。

二、永續的恐怖　これは恐怖の狀態が永く續いて居るものである。又恐怖の發達の形式からわけると

一、簡單恐怖　二、複雜恐怖

であります。簡單恐怖は幼稚なもので、複雜恐怖は餘程發達した方の恐怖であります。

又恐怖の起る時期の點から分て次のやうにすることもある。

一、先天的恐怖（遺傳的恐怖）
二、後天的恐怖（經驗的恐怖）

先天的恐怖とはつまり遺傳的に恐怖すると言ふ意味であります。例へば吾人に祖先の危害を與へたものに對しては遺傳的に恐怖する傾向があると言ふのです。例へば原始時代には蛇は大敵であつた、今日ではさうでもないが、矢張恐れる、これは遺傳的に恐れるのである。ホールなどは頻りにこの遺傳說を唱へて居るがしかしこれに反對の說を持つて居る人もあります。その理由は成る程遺傳は或程度まで認められるけれどもそんなに劃然たるものではなく、漠たるものである。蛇が恐ろしいと言ふてもその大さやら、運動やらが關係するので、すべて經驗に馴

れない大きいもの又は不思議のもの、強いものなどの條件が恐怖を起すのだと言ふのであります。恐怖を招く感覺の種類によつてわけると次の如きものです。

一、聽覺的恐怖　二、視覺的恐怖　三、味覺的恐怖　四、觸覺的恐怖　聽覺は耳に聞いて驚くもので、例へば雷、嵐、暴雨などの如きものであります。視覺は蛇、獅子、象の如きものを見て恐れるのであります、味覺は不馴れの味に接して恐怖するのである。觸覺は例へば夜中途上で松の技に頭が觸れてお化の手ではなかつたかなどゝ恐怖するやうなものであります。

### 恐怖の現はれる狀態

恐怖が現れると身體に一種の變化が起ります。それは成人の方が明良でありますからそれを先づ知つて置くのがよろしい、子供の恐怖の現はれ方は成人よりも表情が單純で、つまり分化が少いわけがあります。成人が恐怖を表はす方面は先づ次の三つであります。

**一、有機的方面**　恐怖の場合には筋肉が多少麻痺したり、又戰慄する。乳汁、月經、唾液などの分泌が減じたり又止むそれから冷汗が出たり、心臟の鼓動が劇しくなり、毛髮が逆立ち、皮膚が蒼白になつたり、呼吸は急速になつてきます。

**二、面相**　眼を見張り、眉をあげ口は苦味を嘗めたやうな格恰で、上唇をあげ、歯を示し、又歯を食ひ締める。

**三、態度**　首を縮め、腕を腋に壓しつけ、身を縮める。恐怖の大なるときには中樞は筋肉支配力を失して最早歩行が出來難くなる。そしてその恐ろしいものから逃れんことを欲して煩悶するのであります。

**四、心理的**　恐怖の際には精神作用も著しい影響を受けます。一般に言ふと觀察力が淺くなり、想像の力は強くなり刺戟性に富んでものごとを考へる作用は大に亂されて常ならば簡單なことでも仲々

よくわけがわからなくなり、一旦恐怖狀態が去つて平常に復してから考へると實に馬鹿げて居る程である。又恐怖の際には注意力が減じて居て、割合に物事を正確に意識せぬことがあります。

### 子供の恐怖

子供は幼少の時代に辨別力も少いし、理性も乏しいから見馴れぬものに接すると恐怖心を起し易いのであります。これ等の恐怖は經驗的のものよりも遺傳性に起るものゝ方が早いのです。極幼少の頃では視るよりも聞くものゝ方で恐怖を懷くことが多いのです。例へば高聲を聞いて恐怖し、又雷鳴などの時に著しく恐れるものがある。これに續きて視覺的及び觸覺的の恐怖が起るのであります。

それから子供が自分の受けた苦痛や經驗から恐怖を覺ゆるのは早くとも生後數箇月後のことであります。しかし一層明かに經驗的恐怖の現はれるのは生後一年以後のことであります。

### 子供は何を恐怖するか

子供が恐ろしがる對象は何であるか。このことにつきての研究はいろ／＼あります。先づ有名なる兒童研究の大家スタンレー、ホールの調査研究を次に紹介して見ませう。

### スタンレー、ホールの研究

ホールは子供の恐怖となる對象を質問票に示してこれに解答を求めて、その成績を整理したのであります。ホールの質問した項目は次の如くであります。

一、天上現象の恐怖　即ち風、嵐、電、雷天體、流星、天空墜落、雲、霧、雲の形、世界の終り、これに伴ふ現象、夜及び暗黑、日月蝕、月の破壞、太陽の登らぬこと、特異の空色、北極光、過度の寒熱、方角を失ふこと。

二、特殊の無生物、火及び火事、水、溺れ、罰及びその道具これと聯想せる場所及び事物。落下及び高所、不安の場所例へば洞穴、峽、森の薄暗、高い丘、其他獨居一般、失はれ又閉込められること、鐵

砲及ざ武器、物の端、尖つた椽、非常に狭い又は廣い場所、衣服或は皮膚上の汚垢及び接觸一般乘物及び騎乘。

三、生物、自動するもの一般、大きな眼、口、齒犬、猫、蛇、豚、鼠及び二十日鼠、蜘蛛、南京蟲、甲蟲、蝦蟇等、血を見ること、強盗及び竊盗、知らぬ人、大勢及び羞恥、笑はれ、噂され又滑稽なること異性に對して恥かしがること、戰鬪の恐怖、臆病、怯懦、疑心。

四、病氣、死亡、友人、地位、幸運、美の損失、或は健康一般の喪失、心臟病、癌、發作、結核、餓死、流行病及び其話の恐怖。

五、超自然的事物の恐怖、卽ち幽靈、心靈、魔術妖怪、龍又は神話的怪物、夢の恐怖、良心恐怖例へば許すべからざる罪を行ひし時の如き、罰殊に天罰、精神の喪失、來世恐怖一般、罪障又は不淨の恐怖。

六、經驗し又は觀察したる急劇の經驗を述べ、單なる驚きか又は驚駭かを述べ、且その原因、結果及び持續を詳述せよ危險又は原因なき恐怖。

七、恐怖の順序及び年齢、その持續及び強度、その促進した行動、教育上善惡の結果、睡眠に及びし影響、特殊の徴候卽ち驚起、蒼白又は發汗、放尿、剛直、痙攣、戰慄及びむづ〳〵の感、嘔吐、衰弱、氣絶、逃走。

以上のやうなものを印刷してこれを多くの人に送つた。そしてその回答を整理して見ると二十三歳以下のものゝ一七〇一人の恐怖對象は六四五六で、最も恐ろしがられるものは雷電、次は爬蟲類、次は知らぬ人及び暗黒、然るに火、死、家畜、病氣、野獸、幽靈、昆蟲、鼠及び二十日鼠、盗人、暴風、夢犬猫、旋風、獨居、溺れること、鳥等は順次に恐ろしさを減ずるのであります。それから次に五〇〇人の男女の恐怖を比較して見ると男と女と恐ろしいものゝ總數から言ふと女は男より多い。その割合は三五五と二・二一とであります。

又五四五人の男兒の恐怖一五二一と女兒六七一人の恐怖三一〇一を年齢によつて別けると男の恐怖は七歳から十五歳まで增し、それから減じて居ります女兒の方は四歳から十八歳まで增加して居ります。

文學士塚原政次氏は嘗て京都開智尋常小學校の男女兒童三三一人の答案につきて恐怖の狀態を調査した。その結果を紹介すると次の如くであります。

一、兒童は如何なるものを恐るゝか。

最も多きは動物で、全數の三分の一强を占む。動物中獸類には、象、獅子、虎、熊、牛、馬、狼、狗猫、狸、狐、猪、鼷　鳥類には鴨、鷲、爬蟲類に巨蛇がある。動物に次ぎては天災で、全數の四分の一强を占めて居る。此中には地震、雷、洪水、海嘯等を含有して居る。これにつぐは人物で全數の八分の一を占めて居る。その中には父母、校長、惡友乞食、盜賊、他人、敎師、男兒を含んで居る。これについでは試驗で、これは全數の約八分の一を占めて居ます。

二、恐怖は如何にして起れるか。

男女共に自分の經驗から恐怖の起つて居るのは少くて、聞知に基づけるものが多い。その比は前者の一九％に對して後者は八一％であります。

三、何故に恐怖するか。

その中の理由で最も多いものは『身を害せらるゝ故』で全數の三分の一强である。次は『家を失ふ故』で、全數の五分の一强、次は「落第する故」は全數の八分の一强であります。

尙ほ同文學士は愛媛縣周桑郡壬生川尋常小學校生徒二三一名につき恐怖につきての統計的調査を行はれたが、最も恐ろしいものは第一が動物で、第二が天災、第三が人であつた。聞知と經驗との比は三・二と一とであつた。

文學士藤岡大信氏は東京本郷區の六尋常小學校生徒四千五百名につきて最も恐ろしいと思ふものを書かせたのであります。その成績によりますと動物の恐怖は年齢と共に減少して居ります。怪物は著し

く年級と共に減じ、之に反して自然の事變に對する恐怖は年の長ずるに從ひ多くなつて居ります。動物の中では獅子、狼、虎、蛇が最も恐れられ、人の中では泥棒が最も恐がられて居る。自然の事變は火事が最も恐ろしくて次は地震、それから下級では雷、上級では病氣であります。

予の調査は稻葉幹一君の助力の下で東京眞砂小學校生徒男一〇九五名女九九六名計二〇九一名に最も恐ろしいものを書かせたのであつた。その成績によると男では自然現象が最も恐がられる、女では動物の方が多く恐れられる。その他は男女相共に同じ順序を保つて居ります。尙ほ詳細のことは雜誌『小學校』第二十九卷第九號第一〇號に載せてあります。

### 恐怖は一生涯續くことがある

多くの恐怖は恐怖の實體がなくなるか又は機會を外すと消滅するのであるが、稀れには恐怖が永く續いて著しきは生涯に涉りて殘る場合があります殊に永續性恐怖と稱したものはこれに屬するのであります。成人が故なくして或物を恐れるのは多くは幼少の時に受けた劇しい恐怖の印象が深く意識の底に潛めるためであります。

或成人は極めて著しく鼠を恐れる性質を持つて居た。或時親友の宅で愉快に談笑して居たが突如として『君、僕失敬して歸ります』と言つて逃ぐるが如くにして匆々その友人の宅を辭した。件の友人はあまりの急に呆然として居た。恐らく自分が何か友の感情をそこねるやうなことを言つたのであらうと、いろ／＼追想して見るが一向それと思はれるやうな事を言はない。翌日途中で圖らずも昨日の友人に逢つて見るといきなり先方から『君、昨日は非常に失敬した。實は君の家の二階で鼠が俄に鬼ゴツコを仕出したので僕は急に胸の工合が變になつて失禮だと思つたが、急に歸つたのだ』と、聞いて件の友人は『コレハ／＼』と腹をかゝへて笑つたと言ふことであるが、先方は迚も笑ひどころの騷ぎではなく眞に胸が惡くなるほど鼠が嫌ひなのであります。形を見ない

鼠の運動を聞いてすらそれほどであるから實物を見れば吃驚して倒れてしまう位でありませう。日本の**やうに到る處に鼠の澤山飼つてある國ではまことに**都合の惡い恐怖の種類であります。斯かる人は鼠と言ふ言葉も聞くことが嫌ひなのです。若し讀書中に鼠と言ふ字があればそれはサッサと飛ばして讀んでしまうのです。困つた恐怖もあつたものです。これでは迚も文選職工にもなれないわけです。斯かる人は素より病的恐怖でありますが、恐らく幼少の時鼠について劇しい恐怖を感ずる機會があつて其經驗が第一印象となつて深く意底に祕め置かれたものと見える。この男などは一生涯鼠の爲めに苦勞をしなければならないのです。モッソーの擧げた例は次の如くであります。即ち一老卒が他人から最大の恐怖は何かと尋ねられたので次のやうに答へた。『自分は已に年六十に達し、度々死者を見たが曾て恐れたことはない。只林の中の小寺か、或は山中の荒堂を過ぎ行くときに、故郷の廢れ寺を追想し、それと同時に幼少のときに見た非命に斃れた人の屍を再び見る思ひをして恐怖の念が起る。それはその當時自分がこれを見た後、老僕は自分を靜かにさせるために屍と共に幽閉すべしと嚇しつけたためである』。第一印象の恐るべき概ね斯の如きものである。かかる例は世間に尙ほ多く種類のあることゝ思はれます。兒供を取扱ふ人は特に注意をせねばなりませぬ。

### 幼兒の恐怖のかず〳〵

幼少時代の恐怖の種類は前に述べました調査の成績に徵しても明かであります。普通は臆病の性質がだん〳〵消えて行くのでありますが、天性が臆病であれば他のものよりも恐ろしがりの傾向はまぬがれませぬ。

### 病的恐怖

ものに恐怖する狀態が普通の度を越ゆるときはこれを病的恐怖と言ひます。例へば夜中何物にか驚かされたやうに突然寢床から起き出でゝ泣き叫び又

は彼方此方を歩き廻るやうな場合です。又猫や犬を見て、蒼白くなり、恐れて慄ひ上るやうなこともあります。また何かに恐れてそれが仲々治らないやうなこともあります。又普通から言ふと何でもないものを恐れたりすることがあります。神經質の兒供に病的恐怖を見ることが往々あります。

### 兒供の叱り方と恐怖

兒供を叱るときに恐ろしいものを持ち出すことはよくないのであります。例へば兒供が從順でない場合に『ソラ狼が來る。獅子が來る。雷が落ちる。人取が來る。巡査が來る。盜賊が來る』などゝ餘計なことを言つて兒供を怖がらせることは甚だ拙い仕方です。期かることをすると幼少の兒供は眞にそんなものが來るものだと思つて臆病心を一層強くするのであります。

### 神話や童話の注意

兒供に談話を聞かせるときに化物や怪獸などのことを大袈裟に話さぬがよろしい。若し話す必要があつたらその後で決して恐るべきものでないこと、或は實際上にはそんなものゝ存在せぬことをよく示して置くことが大切であります。

### 讀物繪本などの注意

兒童用の讀物や繪本などにも應々兒供の恐怖を起すやうな内容を見ることがあります。斯かるものは兒共に寧ろ見せぬ方がよろしい。若し兒供が見た場合にはよくそれを説明して恐るべきものでないことを示して置く方がよいのであります。

貝原益軒の和俗童子訓には、『たはむれに恐しき事どもを言ひ聞かせ、おどしいるれば後に臆病の癖となる。武士の子は殊にこれをいましむべし。幽靈、ばけもの、怪しく誠なき物語、必ずいましめて聞かしむべからず』とあります。

### 恐怖を除く法

恐怖を除くには漸を追ふて徐ろに實行することが肝要であります。急に實行すると結局失敗します。例へば猫を恐れる兒供に直接猫をつきつけて『何も

怖ろしいことはないから抱いておやり』など〻言つて猫をその兒供につきつけたりすると、兒供はその爲めに戰慄するやうなこごがありますそしてその結果猫を怖れること從來よりも一層劇しくなるやうなことがあります。故に初めは玩具の猫位を買つて知らぬ顏して簞笥か何かの上に乘せて置くのです。さうするさ兄弟などがそれを自由に持つて遊ぶのを見るやうになり、後には自分にもそれを持つて遊ぶやうになります、斯くして漸次實物の猫を近かせると遂には全く猫を恐れる性質がなくなります。すべてこの要領で漸次恐怖をうすらがせるやうにするのです。

### 周圍の人々の注意

臆病の兒供を取扱ふ人々は常にその兒供の自尊心を傷けぬやうにせねばならぬ。例へば犬を恐れる兒供に對してこれを嘲るやうな態度をとつてはならぬ。又兒供の恐れるものをわざと持つて來たり、又その物に關する話などを避けるがよい。もし兒供の恐れるもの〻話をすることがあつても決して兒供の恐怖を增すやうなことがあつてはならぬ。寧ろ決して恐るべきものでないこさを說明する態度に出るのがよろしい。

### 意志を强くさせること

臆病の兒供に對しては先づ一般に健康狀態を增進させるやうに注意し、漸次意志を强くするやうに導くことが最も肝要であります。意志を强くするには先づ自分のことは自分で處理することを學ばせるのです。それから忍耐の精神を養はせるため種々の身體及び精神練習をやらせることも必要であります。そして信ずれば斷行する勇氣を修ふやうにすることが肝要であります。斯くて意志が强くなれば物を恐れる精神は漸次うすらいで行くのであります。

# 家庭衛生

## 花見の衛生

一家乃至一團體で觀櫻に出掛け、春の一日を思ふ存分に樂しく遊び暮らすと云ふ事は、誠に目出度いことで、社會生活上如何にも結構な事に相違ない。

併しこれにも種々の弊害が伴ふ、例へば泥醉、從て喧嘩其他風俗警察上の不都合が非常に多くなる、その陰では花見の留守をつけこむ、竊盜、かつさらひも多くなる。

右の事柄は別として、こゝには主として衛生上の缺點を擧げて、注意を乞ふことゝする。

先づ第一に花時の氣候であるが、全體から云へば如何にも適和の候であるけれども、變化が激しい、朝は暖かい上天氣で、眞に觀櫻日よりだと喜んで出掛けると、午後になると風が強く、道路は目も開けぬ樣な砂塵が舞ふ。夕刻には急に寒くなつて、或は雨さへ加はり、綺麗な花見衣もしどゝに裾かきあげて、草履のすつぱねを氣にしながら首を縮めて慄へながら歸路を急ぐと云ふ樣なことは、花見には決して稀らしい圖ではない。斯樣な目に逢ふては單に晴衣の始末や、不愉快だけでは濟まない、往々感冒に罹つて春中寢込まねばならぬ樣な事が始まる。特に子供などを連れて出掛る時には、豫めこれに對する用心が必要である。人の雜踏する處、殊に泥醉者の多い處は、風俗の上からも衛生の上からも努めて避けなければならぬ。

次には飮食物である。花見時の掛小屋を見渡すと先づ鮨に團子、大抵、塵埃を浴びて居るが、よし塵埃を防いであるとしても、多少衛生的思想のある者には決して快い食物ではない。其他鰑、茹卵に蒸芋いづれも不消化な物ばかり、それにサイダ、大抵古い頗る怪しいものが多い。

是等の事を考へる時には、自分の家で非常を拵へて行く、パンとかサンドウイッチに果物位を用意して行けば間違がいない。家に歸つたら温浴する位は申さずともの事であらう。

## 間違つた呼吸

從來軍隊でも學校でも、駈足その他激しい運動をする時に、如何に息が切れても嚴重に口を閉ぢて必ず鼻だけて呼吸をするやうに敎へて居る。然るに獨逸のアレクサンデルと云ふ醫學者は、此の呼吸法の誤つて居ることを論じた。

即ち通常安靜にして居る時には鼻呼吸で澤山である、且つこれは空氣の性狀に佳良の影響を及ぼす利益のあることは申迄もないことである。併ながら續けざまに身體の努力をする場合、例へば駈走する場合、又は登山の際等には、鼻から輸入される空氣の量では間に合はない、肺の内の空氣が稀薄になる。そこで人間でも他の動物でも自然に口から呼吸するやうになつて來らざるを得ない。然れば此場合に無理に口を閉よと云ふ事は不當である、これを偏頗に強制的に實行することは喘息や卒倒などの幾多の病例の原因をなして居る。尚ほ血壓亢進、胸骨下に於ける疼痛を伴ふ所の大動脈擴張、呼吸器の強迫的姿勢等は、往々傳染に對する恐怖などから、無理に鼻呼吸のみに依る間違つた呼吸法必然の結果である。鼻呼吸と口呼吸とは必要に應じて自發的に共働すべきもので、決して鼻呼吸だけ或は口呼吸だけと偏頗に選用すべきものではないと云ふのである。

## 疲勞に砂糖

ある人は左の如く云ふて居る。

『人間の活動の原因は、血液中の酸素と筋肉内にふくまれるグリコゲーンといふ物質が相合して熱を發

生するにある。だから活動が過激の場合には、グリコゲーンが缺乏し疲勞の度が一倍と加はつてくるわけだ。グリコゲーンといふ物質が動物の活動力にあたへる力は實に大きい。この物質は化學上から砂糖とおなじおもむきにある。むかしから砂糖水を飲むとつかれがとれるといふのが眞理なのはいふまでもない。

子供が殊に糖分を要求するのははなはだしきは彼れ等の活動と成長が激しいからで、グリコゲーンの缺乏をするどく感ずる度合は大人にくらべてははなはだしいことになる。だから疲勞者は、筋肉的であらふと精神的であらうと、グリコゲーンにかへて砂糖をとることが肝要である。グリコゲーンは貝類に澤山ふくまれてゐて殊にカキにおほいといふところから佐伯博士はカキからたくみにグリコゲーンを抽出することに成功したグリコゲーンも同博士が、北里博士指導のもとに創製したもので約五十%のグリコゲーンがふくまれてゐる。筋肉勞働者は、毎日缺かさず砂糖をとることである」。

併しこれはグリコゲーンと砂糖とが餘り簡單に代用され補償されて居る。斯ういくものでは無い、且つ吾々の日常食する澱粉は何れも體内で糖化するもので、特別に砂糖を攝取しなければならぬ必要は更々無い。子供も大人も稍多く砂糖を攝取すれば容易に消化を害し、尿の中に糖が現はれて來る位のもので、それが直に活動力に成る樣なうまい具合には行かない。

けれども小兒が砂糖を好み、又過激な運動をする時に甘味が欲しくなることは事實で、兵隊さんなども平素酒が好きで菓子類などを嗜まぬ者でも演習の時には氷砂糖や金平糖などを喜んで衣嚢に入れるのを見受ける、但しこれが説明は右のグリコゲーン云云の如くしかく簡單には出來かねる。

## 鹽の功能

鹽の功能に就て、ある新聞に左の如き事が記してあつた。

『鹽は毎日用ひられてゐるものですが、それが勞働をたすけることはあまり知られてゐません。食鹽を十分に使用すれば、長時間の勞働にたへて疲勞することは少いのです。

一ぱいの鹽水さへあれば、野菜の蟲を驅除することが出來ます、またたまごをゆでるときに、一匙の食鹽を入れますと。卵の皮が剝げ易い、卵を淸水で茹でますと。殼にヒビが入りやすいのですが食鹽水だとうまく出來上ります。

燒卵子を作るときに食鹽を加へますと、鍋に燒き付いたり、またこげたりすることがなく、食鹽が吸收されますので、その味も甘しくなつて來ます。

食鹽を加へた溫水を室の中に置きますと、窓硝子に霜の付くのが防がれます。そのときは、(食鹽燒き鹽)より普通の鹽の方が安くてよろしいのです。

糊に食鹽を少し加へますとつけた布が光澤を增して釘などにかけても錆が付きません。またハンカチーフを食鹽の濃い溶液に浸しておきますと、洗濯がしよくなつて布がべた〳〵することはありません。

新しい木綿を洗濯するときは初め食鹽水の中に浸しておくと糊がよれて洗濯しよくなります』。

餘程眞實の點がある樣である。試めして見れば直ぐ判かる事である。

私は、もう少しこれに追加して置く。

食鹽には防腐の效がある、幾分收斂性もあり、生體に緩和な刺戟を與へる。であるから動植物質を貯藏するに用ゐらるゝことは何人も御存知の通りで、口腔咽喉の荒れた時に一%位の食鹽水で含嗽又は吸入して宜しい、輕い慢性の結膜炎などの爲に眼に刺戟のある場合に矢張一%位の食鹽水で、殊に微溫にして眼を罨法すると宜しい。

喀血した場合に濃厚な食鹽水をぐいと飮むと、その刺戟で喀血の止まることがある。

吃逆の出る時にも右の方法がよく奏效することが

ある。

更に治療上に於ける食鹽水の皮下注射、結膜下注射、注腸法、靜脈内注射等の效用に至ては、迚も茲に述盡せない程廣大なるものである。



## 雜報

○產婆養成機關設置建議

東京府產婆試驗委員會は今回新に「產婆養成機關竝に附屬產院乳兒院の設置」に關し宇佐美府知事宛左の如き建議書を提出せり。

產婆養成機關設置に關する建議書

方今文化の進運に伴ひ社會的施設を要するもの多々あるは論を俟たざるも、產婆養成機關の設置の如きは恐らくは其急を要するものの一なり、蓋し建國の基礎を鞏固にし國力を充實せしめんと欲せば先づ國民の健康を謀らざる可らず。而して健全なる國民は健康なる母體によりてのみ得らるゝことを考ふる時、母體の保健が如何に國家の消長に重要なる地歩を占むべきものなるかを知るに足らむ。宜なる哉世界大戰亂後に於て歐洲各國孰れも國民保健問題に注意を傾け、深甚なる努力と多大なる犧牲とを拂ふて、之が改善に腐心せることは既に識者の認むる處にして、亦以て本問題の如何に重大なるかを適確に立證せるものと認むべし。本問題を解決するに當りては乳幼兒の保健事業に論及せざるべからず。乳幼兒の保護は一に訓練されたる產婆によりて始めて是を得べし。換言すれば優秀なる產婆養成は實に國家存立の本旨に副ふものなるのみならず、亦之を社會政策的見地より觀察するも婦人の職業として極て重要なる意義を有するものなる事を信ずるものなり。今之を統計上より立論批判する煩を避くべきも、尠とも本邦に於ける產婆養成事業は泰西の夫れに比して甚だ遜色あるを認めざるを得ざるを遺憾とす以上の見地よりして保健的政策を實現せんと欲せば、先づ妊產婦竝に乳幼兒保護の任務を遂行するを以て急務なりとす、而して之が完成を期せんとせば第一に之を取扱ふべき理想的產婆を要するは論なし、勿論此の產婆養成機關に對しては既に各府縣共に當局の補助協贊の下に相當の實績を擧げつゝあるは生等の欣幸とするところなり。然れども未だ以て吾人が理想と相距る甚だ遠きを遺憾とす。翻て之を我東京府に就て觀るに未だ嘗て產婆養成に關する機關の設置ありしを見ず。唯唯此の主要なる任務が僅に二三人の手に委ねらるゝ憾あるを見るに及び眞に啞然たらざるを得ず。生等微才を以て每年施行せらるゝ產婆試驗の答案を考査するに當り、常に其の成績の向上せず寧ろ年々低下する傾向あるを認む而已ならず、幸に該試驗を通過したる者にても助產の實際に當り技術の拙劣なるを歎ずること多し。

是等は皆產婆養成に關する適當なる機關の設置なきに歸因するも

のにして従つて優秀なる産婆を社會に送るを得ざるは實に當然の歸趨と云はざるべからず思ふに本邦に於ける

一、年々妊孕力の低下　二、死産兒の增加　三、乳兒幼兒死亡率の增加

等は他に複雜なる原因あるは勿論なれども、産婆教育の缺陷に因する事も亦この原因の大半を衒はざるを得ず。更に去歳の大震火災に於ける本市民の悲慘なる衛生狀態の恢復を企圖せんとするに當り、意を玆に注がざるべからざるを信ず。

叙上の趣意に基き玆に於て次の建議を提出して貴覽に供せん。其の實行方法に就ては他日案を具して更に進言せんとす閣下幸に熟慮生等の意ある處を認められ以て本案の實現を期せられんことを望む。

建議事項

一、府立産婆養成機關の設置

二、附屬産院乳兒院の設置

大正十三年二月十九日

東京府産婆試驗委員一同連署

東京府知事宇佐美勝夫殿

## ○蠅の發生豫防竝驅除

東京市に於ては傳染病殊に腸チフス等の媒介をなす蠅の發生豫防竝驅除に就て苦慮し爾來消毒班を編成督勵して蠅の撒布箇所を調査したる處左記該施設要項に在るが如き場所に多く撒布せらるゝことをつき止めたるを以て此程警視廳と共力して驅蠅班六十班を組織し各班に警視廳防疫職員一名加り之を指導し本月一日より全市十五區一齊に施行し徹底的蠅の發生豫防竝に驅除開始

尚ほ驅蠅劑は經費の關係上及びラボラトリユウムの結果を大規模に實際に應用する意味に於て大體效力同じとせらるゝ左記五種を選び各町夫々異りたるものを用ふることとせり、因に右實施の結果良好なる成績を擧げ得れば今後引續き數年繼續して行ふ意嚮を有せりと

### 蠅の發生豫防竝驅除に關する施設

蠅の發生竝豫防驅除に關する施設は左記各項に依り施行するものとす。

一、驅蠅班の編成

(イ)監督員一名、指導員一名(警視廳防疫職員)人夫五名を以て一班を編成すること

(ロ)各區に於ける戸數に對する人夫數にして班の編成上增減ある

ときは其班員を適宜増減すること

(ハ)一班一日の作業戸數は約二百五十戸とす

(ニ)作業は各區共一齊に來る三月一日より著手し二十日間雨天順延に終了の豫定を以て施行すること

二、驅蠅劑配布

(イ)クレシン

麹町、四谷、牛込の各區

(ロ)デシン

芝、麻布、赤坂の各區

(ハ)クレゾール石鹼液

日本橋、神田、淺草の各區

(ニ)硼　砂

小石川、本郷、下谷の各區

(ホ)クレオソート油

京橋、本所、深川の各區

三、驅蠅劑製法及用法

(イ)クレシン(三十倍)

(製法)四斗樽一本に原液を二合五勺入柄杓にて五杯を入れ之に水を加へ柄杓を以て攪拌しつゝ徐々に水を注ぎ四斗樽の全量に至らしむべし

(川法)都度之を柄杓に　[illegible]拌すべし

(ロ)デシン(三十倍)

製法及川法クレシンに同じ

(ハ)クレゾール石鹼液(三十倍)

製法及用法クレシンに同じ

(ニ)硼砂(三十倍)

(製法)四斗樽一本に硼砂を五ポンド入の容器にて一杯を入れ之れに水を加へ十分攪拌しつゝ徐々に水を注ぎ四斗樽の全量に至らしむべし

(用法)使用の都度之を柄杓にて攪拌すべし

(ホ)クレオソート油(三十倍)

(製法)クレシンに同じ

(用法)使用都度柄杓にて攪拌すべし

(ヘ)製法に違算なき樣特に注意すること

(ト)一戸平均二升宛の見込を以て撒布すべき場所及物件等に依り如露又は柄杓にて適當に撒布すること

(チ)無益の場所に撒布せざる樣注意すること

四、驅蠅劑撒布場所

(イ)便所内、糞池の周圍(多き面)及便所の周圍

(ロ)塵芥並容器の内外及容器を移動せしめ其の位置の地面

(ハ)塵芥溜に於ける塵芥並其周圍

(ニ)各戸流し口附近及其の不潔箇所

(ホ)道路、廣場、空地等に於ける不潔物並に之を堆積したる箇所及其周圍

五、所要器具略

六、驅蠅班員勤務心得(略)

○赤十字聯盟總會

赤十字聯盟第三回總會は來る四月二十八日より五月二日に亙る五日間巴里赤十字社に於て開會する筈にて本邦よりは陰山宋（在獨日本赤十字社病院治療主幹）杉村陽太郎（在佛國際聯盟帝國事務局次長）永田安吉（在瑞帝國公使館三等書記官）の三氏委員として參列すと云ふ。

本總會の會議事項は左の如し。

赤十字聯盟第三回總會會議事項

第一、赤十字に關する國際的組織

ト、理事會の指揮に據り本件に付き書記局に於て調成せる報告を審査すること

ロ、平戰時赤十字の國際的組織

ハ、千九百二十一年四月一日の協定、赤十字社聯盟と赤十字國際委員會との關係

第二、聯盟の組織

イ、理事會の構成及び權限　ロ、理事會の職務　ハ、諮問委員會の構成及び權限　ニ、聯盟支部又は數ヶ國の赤十字社團體　ホ、聯盟の歳計に對する赤十字諸社の醵出金

第三、赤十字諸社の構成

イ、社員の種類地方團體州團體篤志勤務

ロ、一國的事業及び地方的事業の次第書

ハ、宣傳社員募集の方法、資金募集の方法

ニ、左記のものとの共同　第一、官廳　第二、私設團體　第三、衛生事業に關する會議及び類似の組織

ホ、聯盟書記局組織部の事業　第一、赤十字社設置　第二、現在赤十字社の事業發達に對する援助

第四、少年赤十字

イ、少年赤十字の組織　ロ、少年赤十字の事業、衛生、國內的共力、國際的關係

ハ、宣傳・雜誌・冊子・講演等　ニ、教育の目的を以てする物品又は書類の交換　ホ、聯盟少年部の事業　第一、赤十字諸社に對する援助　第二、教育に從事する機關及少年の事業との關係

第五、赤十字と衛生

イ、衛生に關する通俗的教育　第一、講演・講義　第二、冊子・掲榜・活動寫眞・展覽會等　第三、他の團體との共力

ロ、聯盟書記局衛生部の事業（第一、赤十字諸社に對する援助　第二、內國團體との關係　第三、國際的團體との關係）

ハ、內國的場裡及び國際的場裡に於ける赤十字の助力（第一、對結核病に就て　第二、對花柳病に就て　第三、兒童養護に就て　第四、癌に就て　第五、對痲醉劑の使用に就て）

ニ、赤十字諸社專門の事項（第一、救護所の構成　第二、移動施設及び輸送の構成　第三、收容事務、人口の稀少なる地方に於ける療養所・病院船・病院等　第四、衛生從前の構成）

第六、赤十字社と看護婦

イ、看護婦の養成　ロ、赤十字社に於て看護婦を募集することの

所要條件　へ、赤十字巡回看護婦　ニ、赤十字諸社と看護婦會との關係　ホ、聯盟書記局看護婦部事業（第一、赤十字諸社に對する援助、第二、巡回看護婦の國際講義、第三、看護婦の内國團體と國際團體との關係）

第七、赤十字社と災害被害救助
イ、救助の爲めにする赤十字諸社の常設準備
ロ、赤十字諸社と官憲及私立團體との共力
ハ、赤十字諸社相互の共力努力の調和　ニ、聯盟書記局に災害被害者救助部を設置すること、同部の職制
ホ、災害被害者國際的救助に關する同上院議員チラオロ氏案の討議

第八、聯盟書記局に於て使用する方法
イ、刊行物、「衞生の方へ」同文通信　赤十字諸社刊行物用として書類の送附
ロ、赤十字會議（第一、萬國的　第二、數ヶ國的　第三、技術的）
ハ、赤十字諸社派遣員の聯盟書記局に於ける事務練習
ニ、聯盟書記局員赤十字諸社の訪問
ホ、通信、報告及刊行物の編纂配付
ヘ、他の國際的機關との共力

第九、總會討論の資料となり得べき聯盟の次第書を明確に作成すること

猶我が赤十字よりは晩秋の震火災に於ける左の救護狀況事項を印刷に附し同會議列席委員に配布すと

第一、震災被害概況　第二、罹災傷病者の救護
一、東京方面罹災者救護の狀況　甲、救護班の行動　乙、罹災傷病者傳染病患者の收容（イ、本社病院　ロ、臨時病院）丙、妊産婦及兒童保護（イ、本社病院　ロ、臨時病院　ハ、乳兒院　ニ、兒童收容所）二、神奈川縣（横濱）方面震災救護の狀況　甲、救護班の活動　乙、患者の收容　三、千葉縣其他罹災者と救療の狀況　四、各支部派遣の救護人員

第三、傳染病豫防及救護材料の供給
第四、篤志看護婦人會及少年赤十字團の活動
第五、皇室の眷遇
第六、外國赤十字の同情

## ○兒童用牛乳審議

日本兒童學會に於ては、兒童用の牛乳問題に關する委員會に於て左記の建議案が作成せられた。

乳兒用牛乳

一、乳牛は健康なるものにして榨乳及び其後の處置をなす人は傳染性疾患を有せざる事
一、榨乳及び其後の處置は總て出來得る限り清潔且無菌的なる事
一、牛乳にては細菌增殖を防ぎ難きが故に煮沸消毒（攝氏百度にて五乃至七分）又は低熱消毒（攝氏六十度乃至七十度にて三十分間）を施すを安全とす但し其程度を越えて牛乳の變質を來し乳兒榮養品として不適當なるに至らしめざる事
一、牛乳は純粹の儘にて水、構造物質、糖、澱粉、消毒藥、アルカリ劑等一切の混和物を含有せしめず脂肪を増減するが如き處置を加へず各罎内の脂肪含有量を平等ならしむる爲分配前十分攪拌する

事

一、榨乳より消費者に到達する迄の時間は出來得る限り短縮し二十四時間以上とならざる事

一、消毒の際を除き榨乳直後より消費者に到達する迄での間常に牛乳を低温に保ち攝氏十度以上たらしめず以て細菌の増殖を防ぐ事

一、牛乳の消費者に到達したる際其比重は一〇二八乃至　〇三四(攝氏十五度に於て)脂肪含量は三乃至四・五%酸度はソクスレット、ヘンケル四乃至八度一瓩内の細菌數は一萬以下なる事

次で二月十九日の委員會例會席上に於て、愛光舍主角倉氏を聘して、供給者の立場としての牛乳殊に兒童用牛乳について、東京及日本に於ける乳業の一般。東京の牧場、飼料、器械及び手に於ける榨乳方法、消毒、配達、加水、牛乳種別、乳汁と細菌、飼料と牛乳、牛乳消費量等歐米と比較し微細に亙りて論及し、東京に於ける、牛乳消費量は一人一年五合餘、アメリカにては一人にて一年間に八斗四升八合、スエーデンにては一石九斗三升餘を飲料としてゐる等の例を擧示して、日本の牛乳の高價にして且つ品質の低下なる所以を力説せられたり。

更に又三月十九日の委員會例會に於ては、東京帝大教授、津野慶太郎氏(獸醫學博士)に請ふて、獸醫學者としての立場より、兒童用牛乳に關する意見を聞けり。卽ち津野教授は明治三十年より三十三年頃に皇室の御料に供する關係上、學術上にても實際上にても完全なのを得たいとの希望にて研究に著手したといふことより、說き始めて牛舍、乳房、榨乳、細菌等に論及して、飼料の問題に移り、小兒の下痢が六月より九月頃まで流行する、此は青草を飼料にする頃に該當し、放牧下痢と稱して、アルペンでもオランダでも此の現象はある、が然し青草の中でも一番害のないものは禾本科植物のオルチャードである。又牛舍には水の選擇が必要である、牛乳罎、瓶を洗滌する、その汚水の停滯して、井戸の中に入つて有害なものとなる。此の故に夏では細菌は百萬より百五十萬、最もよいのが十萬個位含んでゐるのである。日本に於ける牛乳の歴史は古い、光德天皇の頃に榨乳術を傳へたとて、その間の變遷を語りて、消費量に移り全國一人一ヶ年に約〇・〇六合位、乳牛の増加は著しく明治十六年を一とせば二十一年には三、三十八年には九、四十年には十二、大正の初めでは二十七倍に増加してゐる。日本の牛は百五十萬頭以下の數であるが、人口と産業は増加しても、此に比例して殖えてゐない。現今東京附近の牛乳營業者の手にある乳牛は二歳以上が四萬二三千頭ある、然し昨年の震災後九月、十月の頃交通機關不完全のため肉牛の運輸が付かず、二千頭位の乳牛を屠殺した。災前に一日に五十石宛近縣より東京市内へ牛乳を輸入した。その頃市内にて一日の使用量は二百石より二百五十石位であつた。目下日本の乳牛はホロスタイン種が重なるもので乳量が多い、その他ブラウン種、エヤシャ種、ジャージ種、ガーンヂ種等である。

乳牛として最もよいのは神經系統の優秀なるものがよい、頭の目から上の方は神經系統、目から口までは消化器系統を示す。神經系統の秀れたものは額が廣く鼻の下が短い、それを選ばればよい。牛乳は出來ぬ。乳牛としては目のよいのが良好でジャージ種は目の大きいのが多い。又女性のタイプを持てゐなくてはならぬ、頸が細く、細面で角の小さいのは乳牛としては最もよいのである。

その他器械榨乳及び榨乳方法等を論じ、その間に

乳牛の圖示と解説を試みられ、試用牛乳として純粋なるものを持參せられて各出席委員に試飲せしめられたり。

尚次回には同教授は更に經濟上の見地より牛乳を論ずる約をせられて、九時半散會せり。

## 會報

### ○大正十二年度決算報告

| | |
|---|---|
| 收入 | |
| 前年度繰越 | 三、五三五、四一圓 |
| 會費 | 六九七、五〇圓 |
| 利子 | 二一六、一二圓 |
| 計 | 四、四四九、〇三圓 |
| 支出 | |
| 報酬 | 四〇一、六四圓 |
| 印刷費 | 三九八、二九圓 |
| 集會費 | 二二、三〇圓 |
| 文具費 | 五、一九圓 |
| 通信費 | 七一、二四圓 |
| 雜費 | 七一、六二圓 |
| 借家料 | 二六四、〇〇圓 |
| 計 | 一、二三四、二八圓 |
| 差引 | 三、二一四、七五圓 |
| 川崎銀行定期預金 | 三、〇〇〇、〇〇圓 |
| 振替貯金 | 五九、三二圓 |
| 借家敷金 | 五〇、〇〇圓 |
| 手元有高 | 一〇五、四三圓 |
| 計 | 三、二一四、七五圓 |

# 私立大日本婦人衛生會役員氏名




大正十三年四月十七日印刷
大正十三年四月二十日發行

東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地
編輯者兼發行者 莊司秋次郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者 柴山則常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 合資會社 杏林舍

東京市本郷區駒込千駄木町五十番地
發行所 私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所

東京市本郷區龍岡町 吐鳳堂
同 市銀座三丁目 東海堂
同 市京橋區鎗屋町 良明堂
同 市本郷區龍岡町 南江堂支店
同 市芝區愛宕町 明文館

京都市寺町二條南入 若林茂一郎
東京京橋元數寄屋町 北隆館
同市神田區表神保町 東京堂
同市本郷區本富士町 盛春堂
名古屋市榮町六丁目 丸善書店